

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	イーライフジュニア・プラス		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 15日 ～ R7年 1月 17日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日 ～ R7年 1月 17日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児が通所を楽しみにしており、保護者も成長を感じられている。	苦手なことに取り組みつつも、楽しんでもらえるような関わりを持っている。	児童一人一人と向き合い、其々にあった支援を行う。
2	事業所のプログラムが固定化されず工夫を行っている。	集団療育は法人独自の活動をデジタル媒体で作成しており、利用児に合わせて作り変えている。	全スタッフが同じように進行できるよう研修等行っていく。
3	成長と共に必要となるソーシャルスキルを習得する。	就学後に必ず取り組むこととなる「挨拶をする」「一人に注視し話を聞く」「挙手して発表する」「他者の意見を聞く」「椅子に座る」等を取り入れている	異年齢の児童が利用しているため、全年齢に分かりやすく伝えられるよう工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族等も参加できる研修会や、地域の児童と交流する機会がない。	保護者からのニーズがなく行っていない。	ニーズがあれば考えていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 イーライフジュニア・プラス

公表日 2025年 1月 31日

利用児童数

36名

回収数

32名 (回収率89%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	6	0	1	限られたスペースの中で、工夫が見られます。	活動面積に限りがあるからこそ、他児とのやり取りが起こりやすくなっております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	0	0	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	1	0	1		
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	0	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	6		アンケート配布時未公表 令和6年12月26日公表。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	0	0	1	子どもの苦手な部分を少しずつ伸ばしていくような計画が作成されていると思います。	今後もお子様にあった計画を作成いたします。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	2	0	1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	2	・言葉の発達とともに他者とのコミュニケーションも図れるようになり、成長を感じています。 ・個別に特化した支援で、子供の成長を促されていると感じています。	お子様が成長できるよう支援計画に沿った支援を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	0	0	2	様々な活動が用意されていて、子どもが飽きずに取り組めているのではと思います。	今後も楽しんで通っていただけるよう、様々なプログラムを考えてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3	3	13		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	0	0	0	的確に子の発達状況を理解し、支援計画を実施していただいております。	契約時や児童発達支援計画の更新時に説明してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	4	12		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	31	1	0	0	・いつも日々の様子をノートで教えてくれたり、相談に乗っていただけて感謝しております。 ・連絡帳を通していいに子供の姿を伝えてくださっています。	保護者様も安心してお子様を預けられるよう関わらせていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	1	2	1	保護者から求めた時には、助言をくださったり、相談に乗って下さっています。	お困りごと等相談しやすい環境を整えてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	6	16		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2	0	5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2	0	0	職員に直接会う機会は少ないですが、電話や連絡帳で十分やり取りできています。	電話や連絡帳での保護者様との連携の他に面談の場を設ける等の配慮を行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1	0	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	3	0	11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	0	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	0	0	5	非常時等の対応については、説明を受けたことがないように感じます。年に一度でも伝えて頂けると良いと思います。	契約時や連絡帳、ブログにも記載しておりますが、伝達方法を検討し保護者様に広く認知していただけるように努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	1	0	0	お勉強も楽しかったと毎回言っています。	今後も楽しんで通ってもらえるような活動・療育を行っていきます。 また、お子様が成長できるような関わりを継続してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1	2	1	・朝から「今日は先生が来る日だね」と言い、自らかバンの用意をしています。 ・毎週楽しみにしている様子が伺えます。 ・「今日はイーライフだね」と言ったり、出来事を教えてくれています。楽しかったのだなと想像しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1	0	0	・子を理解し、発達支援をさせていただいています。 ・週2回ですが保育所に通っているだけでは受けられなかった支援を受けさせてもらい、子どもの変化を感じています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		イーライフジュニア・プラス					公表日		2025年 1月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○							
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○							
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在行っておりません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		オンライン研修や外部研修への参加を行っている。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上に提示している。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○							
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○							

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週毎に異なる活動プログラムを提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		日常的に個別療育と集団療育を行っているが、状況に応じて個別療育の比重を大きくする等の対応を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		午前、午後にそれぞれミーティングを行い、その日の活動内容や療育中の動き送迎時の注意点等について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		都度ミーティングを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の記録し、支援終了後にはミーティングを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別課題や集団場面で気になった点について職員間で共有し、次の支援に繋げている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者または児童発達支援管理責任者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		適宜電話・面談等を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		都度情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		地域マネジメントによって連携を図っている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在行っておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		適宜電話・面談等を行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者様から相談があれば、その都度支援内容について検討している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		適宜電話・面談等を行っている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		適宜電話・面談等行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		適宜電話・面談等行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在行っておりません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		会報などは発行していないが、ブログで活動概要を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現段階では予定しておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回の避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		都度作成し検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		委員会を設置しており、研修を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		委員会を設置しており、研修を行っている。	